



藤岡市

第77号

議会だより



12月定例会の あらまし

定例会は、11月29日から12月13日までの15日間の会期で開催されました。

教育長の任命についてなど35議案が提出されました。

◆29日―本会議 会期の決定。
市長提出議案35件を上程、
うち32議案を即決。

◆2日―総務常任委員会、
経済建設常任委員会。

◆5日―教務厚生常任委員会。

◆8・9日―本会議 一般質問。

◆13日―本会議 委員会付託議案
3件を可決。

議案等審議結果＜12月定例会＞

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告17号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報 告
第99号	教育長の任命について	同 意（全 員）
第100号	三波川財産区管理会委員の選任について	同 意（全 員）
第101号	藤岡市表彰条例の一部改正について	可 決（全 員）
第102号	藤岡市総合計画基本構想の議決に関する条例の制定について	可 決（全 員）
第103号	藤岡市議会議員及び藤岡市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	可 決（全 員）
第104号	藤岡市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可 決（全 員）
第105号	藤岡市長等の諸給与条例の一部改正について	可 決（全 員）
第106号	藤岡市職員の給与に関する条例の一部改正について	可 決（全 員）
第107号	藤岡市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	可 決（全 員）
第108号	藤岡市税条例等の一部改正について	可 決（全 員）
第109号	藤岡市都市計画税条例の一部を改正する条例の一部改正について	可 決（全 員）
第110号	藤岡市国民健康保険税条例等の一部改正について	可 決（全 員）
第111号	藤岡市ゆったり館の設置及び管理運営に関する条例の廃止について	可 決（多 数）
第112号	藤岡市鬼石用水管理条例の全部改正について	可 決（多 数）
第113号	藤岡市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について	可 決（多 数）
第114号	藤岡市屋外広告物条例の一部改正について	可 決（全 員）
第115号	藤岡市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可 決（全 員）
第116号	藤岡市鬼石多目的ホールの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可 決（全 員）
第117号	藤岡中央児童館の指定管理者の指定について	可 決（全 員）
第118号	庚申山総合公園の指定管理者の指定について	可 決（多 数）
第119号	藤岡総合運動公園の指定管理者の指定について	可 決（全 員）
第120号	烏川緑地等の指定管理者の指定について	可 決（全 員）
第121号	毛野国白石丘陵公園等の指定管理者の指定について	可 決（全 員）
第122号	鬼石地区公園の指定管理者の指定について	可 決（全 員）
第123号	藤岡市譲原農産物処理加工施設天神茶屋の指定管理者の指定について	可 決（全 員）
第124号	平・根際農事集会所の指定管理者の指定について	可 決（全 員）
第125号	宇塩山村活性化センターの指定管理者の指定について	可 決（全 員）
第126号	妹ヶ谷山村活性化センターの指定管理者の指定について	可 決（全 員）
第127号	損害賠償の額を定めることについて	可 決（全 員）
第128号	字の区域の廃止について	可 決（全 員）
第129号	市道路線の廃止について	可 決（全 員）
第130号	市道路線の認定について	可 決（全 員）
第131号	平成28年度藤岡市一般会計補正予算（第2号）	可 決（全 員）
第132号	平成28年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）	可 決（全 員）
第133号	平成28年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）	可 決（全 員）

指定管理者制度に

ついて

山田 朱美

問 本市の指定管理者制度の導入における基本方針について伺います。

答 公の施設の目的を効果的に達成するため、民間事業者の能力を広く活用することにより、市民サービスの向上と管理経費の節減を図るなど、効果的な施設管理を行うことが出来ます。

問 どのような施設を指定管理者制度に適用しているか伺います。

答 導入している施設は41施設で、公園や運動施設、観光や宿泊施設、高齢者福祉施設など、多岐にわたっています。

問 図書館職員は専門性が大切だと思います。市民に開かれた図書館を目指し、どのような方針で臨んできたか伺います。

答 利用者のニーズに応え一人あたりの貸し出し冊数の増加、無線LANを導入、館内マップを作

成しました。職員それぞれが講座やイベントを開催し、利用者の促進を図っています。

問 公立図書館に指定管理者制度を導入している他市町を視察したところ、学習拠点として愛される施設となるよう、さまざまな取り組みに力を入れた。市も前向きに取り組んでいただきたいと思います。考えを伺います。

答 民間活力の導入によるサービスの向上や、経費の削減が期待されるところで。他市町村を参考に調査、研究をしていきたいと考えています。

問 鬼石複合施設の中に図書室も併設されました。市立図書館の分室となれば、利用者へのサービスの向上につながると思いますが、考えを伺います。

答 利用者の推移を見守った上で、分室化及び図書管理システムの導入を検討したいと考えています。

問 新学校給食センター開所に向け、直営方式から民間委託方式に変える考えがあるか伺います。

答 近い将来、配送業務に加え、調理や洗浄作業などの業務についても業務委託に移行することなどを検討していかねければならないと考えています。



結婚支援について

窪田 行隆

問 少子化対策として、結婚支援の充実が必要です。結婚新生活支援事業は、所得300万円未満の新婚世帯を対象に、新居の住居費と引っ越し費用を補助します。この事業は、本市に住む動機にもなります。本事業を実施するべきと思いますが、考えを伺います。

答 この事業は時限的な事業であり、他市の状況を踏まえ検討しています。

が、実施に至っていません。事業を国で継続して実施するよう、国や県に働きかけを行っていききたいと考えています。



育児支援について

問 出産後の育児は母親に多くの負担がかかります。そこで手伝える家族がいない場合、産前・産後サポート事業でのヘルパーによる家事・育児の支援が求められます。子育て応援券では不足と思われるので、事業実施について考えを伺います。

答 10月より開始した子育て応援券交付事業は、家事援助のためのヘルパー派遣の利用料として使用できますので、積極的に利用促進を図っていきます。産前・産後サポート事業としての実施は、更なる事業の必要性を見極めていきたいと考えます。

す。

問 出産後1カ月間は母体が回復していない場合もあり、不安が最も強まる時期です。産後ケア事業は、産婦は病院で体のケアを受けながら、乳児の健康チェックや育児指導などを受けられます。本事業を実施するべきと思いますが、考えを伺います。

答 産後の育児サービスに関するアンケートで、産後ケアを希望する方は28・2%でした。この結果を踏まえ、支援を充実していきけるよう検討し、関係機関と調整したいと考えます。

問 国は産後うつ予防のため、健診費用への助成を始める方針です。産婦の10%程度に産後うつ疑いがあり、育児放棄や虐待につながる恐れもあります。本市でも助成が実施できないか伺います。

答 産後うつ健診の必要性はありますが、国の動向を踏まえ、県内で統一した体制での実施が望ましいと考えます。

市立図書館について

小西 貴子

問 図書館は市民の文化基盤であり、知的向上を図ったり、本市未来の発展に寄与する側面もあります。こんな時代だからこそ子供達の心の教育には特に力を入れて頂きたいと考えますが、読書推進の現状について伺います。

答 子供向け資料の充実、展示やイベント、団体貸し出し等で本と親しむ環境の充実を図り、また学校図書室も様々な工夫で年々貸し出し冊数は増加しています。

問 新しい型の図書館に做ってレイアウト変更等を行ったり、町なかの案内看板を増設する考えがあるか伺います。

答 折に触れてレイアウト変更、案内看板の増設も検討したいと考えています。

問 図書館の土地は借地であり、その借地料等は大切な市民の血税から出していますが、その累計金

額はいくらになるのか、また、今後新しい土地を取得して建てかえる等の将来的な計画や展望はあるか考えを伺います。

答 累計金額は約1億4200万円で、具体的計画はありませんが、建築後26年経過し、手狭になっている書庫や駐車場の確保も課題であると考えています。



児童虐待について

問 児童虐待は年々ひどさを増し、まことに痛ましい事件が後を絶ちません。本県でも死亡に至った虐待事例が2件報告されています。本市の現状を伺います。

答 虐待を疑う事例は増えていきます。西部児童相談所への通告件数は平成

23年度14件、24年度11件、25年度26件、26年度11件、27年度35件です。

問 虐待は保護した後の温かい見守りや保護者の方への心のケアが大変重要なところであると考えます。乳児家庭全戸訪問事業の本市の実施率とその後の方策について伺います。

答 実施率は9割となっており、訪問できない場合、その後の健診で確認をしたり、継続訪問や経過観察を行っています。

ごみの減量・食品ロス対策について

内田 裕美子

問 ごみや廃棄物を減量し、循環型社会を実現するためにも、市民一人ひとりの意識改革が重要で、市民・事業者・行政が協力し、ごみ問題を解決すべく、ごみ会議やプロジェクトを発足する考えがあるか伺います。

答 今後、一般廃棄物処理基本計画の見直し等に合わせ、市民・事業者・行政の3者で構成さ

れる廃棄物減量等推進審議会を開催し、ごみの減量についての市民参加の取り組み方法等を検討していきたいと考えます。

問 食品ロスとして廃棄されている食品は、日本全体で年間約632万トンあり、家庭から排出された可燃ごみの中にも、食品ロスと言われる、まだ食べられるのに廃棄された食品も多く含まれているものと考えられます。家庭で余っている食品等を持ち寄り、広く地域の福祉団体や施設、生活困窮家庭等に寄附する運動で、もったいない食品をありがとうの食品に代えるフードドライブの取り組みが食品ロス削減にも繋がりますので、本市として実施できないか、また、実施団体を支援できないか伺います。

答 行政で取り組んだ場合、配布先の選定など、何らかの要件を定めなくてはならないため、NPOやボランティア団体などの事業者が実施するほうが臨機応変に、迅速に対応できると考えます。実施団体への支援については、ボランティア団体

や事業者からの相談、支援の要請があれば、検討していきたいと考えます。



乳幼児の予防接種について

問 定期接種以外のB型肝炎、ロタウイルス及びおたふく風邪等の任意予防接種は、ワクチンの金額が高く、子育て世帯には大きな負担です。任意接種希望者に助成や補助をすべきと思いますが、考えを伺います。

答 市としては任意接種を受けた人への助成は行っていない。今後、安全性が確立され、定期接種となった際には、接種費用の補助を行い、積極的に接種勧奨を行いたいと考えています。



ごみ処理について

茂木 光雄

問 清掃センターと鬼石資源化センターの現状について伺います。

答 清掃センターは昭和61年1月に約23億円で建設され、その後、国のダイオキシン類削減対策に基づき、平成10、11年度に排ガス高度処理施設整備工事を約22億8900万円で実施し、現在に至っています。建設から31年が経過し機械類の更新時期を迎えているなか、長寿命化計画を作成し、平成41年度程度の施設使用とし、長寿命化に伴う経費は約17億円を予定しています。

鬼石資源化センターについては、リサイクルプラザを平成11年3月に7億2450万円で建設し、家庭から排出される不燃ごみ処理を手選別により有価物を回収した後、破碎処理を行っています。また、固形燃料化施設が平成11年3月に工事が竣工し稼働しましたが、合併により平成18年4月1日より休止しています。今後の廃棄物処理施設

については、ストックマネジメント、つまり長期にわたって使用する考え方の導入を行い、適時の延命化対策を実施することにより、施設の長寿命化を図っていきます。

問 ごみ収集運搬業務委託について伺います。

答 ごみ収集量については、平成27年度は対平成22年度実績の98・84%と減少傾向にあり、平成29年度からの5年間にについても収集量の減少が想定されます。しかし、収集車の走行距離は、年間2万3000キロメートル程度と横ばいの状況で、収集運搬の手間は変わらないことから、平成29年度からの5年間の年度別変更契約での減額は余りないと思われます。経費削減については、平成29年度から平成33年度までの委託契約を指名競争入札で考えており、さらに資源ごみ収集運搬業務委託で市所有車8台を貸し出して、総計距離が概ね一台当たり25万キロメートルから29万キロメートルで、きちんと整備を行えば50万キロメートルまでは使用でき

ることから、今後5年間は車両購入を行わない方針です。



圃場整備地内農道舗装整備事業について

冬木 一俊

問 第4次藤岡市総合計画実施計画書の中で、平成29年度より実施を予定している新規事業に、圃場整備地内農道舗装整備事業が計上されていますが、本事業の整備計画の概要を伺います。

答 圃場整備地内農道舗装整備事業は、未舗装状態にある圃場整備後の農道について、農作業の移動時間の短縮、荷崩れに

よる農作物の傷み防止、農地への砂利の飛散防止等を目的に、平成29年度より市の実施計画に新規事業として計画を載せ、事業を実施することとしています。特に、藤岡南部圃場整備地内の農道は、農業生産性向上に加え、主要地方道前橋長瀬線バイパスの神田・矢場工区、市道124号の拡幅が計画され、地域内道路環境が大きく変化し、生活道路としての利用頻度の増加が見込まれることから、早急な舗装整備が必要と考え、未舗装の主要路線を舗装整備する計画としています。

なお、藤岡南部圃場整備地内の計画区間の舗装整備が完了した後は、宿神田土地改良事業により整備された農道や現在実施中の笹川沿岸、下戸塚・岡之郷、牛田・川除等の市内圃場整備事業が完了した後に、順次この計画に加え、農道舗装整備を行う予定としています。

問 本事業の整備の期間と費用について伺います。

答 圃場整備地内農道舗装整備事業で現在計画し

ている農道は、藤岡南部圃場整備地内を対象としており、未舗装部の主要路線延長が約6・7キロメートルで、総事業費は約1億2000万円。道路幅員により前後しますが、毎年1・3キロメートルの延長を、事業費2400万円で実施し、5力年で完了計画となっています。

圃場整備により大型機械の導入が可能となったことで、農業の生産性向上が図れるとともに、生活道路としてのさらなる効果が見込まれるため、農道舗装の必要性が増していると思われますので、圃場整備地内農道舗装整備事業を実施することにより、早期整備を図りたいと考えています。



自衛隊と行政との 関わりについて

中澤 秀平

問 自衛隊と本市はどのような関わりがあるか伺います。

答 市では法定受託事務として自衛官の募集事務を行い、教育の一環として中学校の職場体験学習の受け入れに協力をお願いしています。

問 自衛隊での職場体験先はどちらになるか伺います。

答 平成27年は新町駐屯地、入間基地、朝霞駐屯地へ行っています。

問 中学校の職場体験学習のねらいを伺います。

答 本市を中心とする事業所等での体験活動を通して、生徒が自己の生き方や社会に貢献する意義を見出すことができるようにすることや、本市の子供を市で育てる機運を高めることが狙いとなっています。

問 原則として「市内の活動場所や事業所に各自が自宅から向かう。教職員は現地を巡回指導する」と実施要項にはありません。遠方の基地で職場体験を行う際の実施方法を伺います。

答 入間基地・朝霞駐屯地へ向かう当日は、自衛隊のバスで各地を回り、教職員による巡回指導は行っていないです。

問 自衛隊地方協力本部のホームページには中学校の職場体験の様子が掲載されています。内容は把握していたか伺います。

答 新聞記事掲載後や今回の一般質問通告後に確認をしました。

問 自衛隊での職場体験は実施要項の原則とは異なり、遠方で行われています。その様子をホームページ上で確認すると、職場体験が自衛隊の宣伝材料とされていると推測することが出来ます。教育の一環としての職場体験が自衛隊の広報や募集に利用されてしまっているのであれば問題がある

と考えますが、今後について伺います。

答 ホームページ掲載の写真の取扱いについては、今後も配慮するように働きかけていきたいと思えます。



空き家、空き店舗、 空き地について

岩崎 和則

問 空き家バンク制度の今後の取り組みについて伺います。

答 空き家の売却や賃貸を希望する方の物件情報等と本市に居住を希望する人とのマッチングを図り、有効活用していきたいと考えています。

問 この制度を活用する上でどのような計画、支援策があるのか伺います。

答 有効活用を促進するための補助金制度の創設を進めています。内容は、空き家バンク制度を通して空き家を取得した者が当該空き家の改修をした時に、その費用の一部を補助します。なお、転入者に対しては補助額を増額する予定です。

問 空き家対策事業を進めていく上で、特定空き家を解体した場合、3年間の固定資産税と都市計画税を解体前と同額とする減免措置を導入している自治体もありますが、考えを伺います。

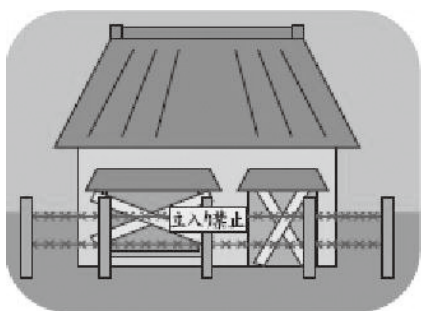
答 固定資産税の減免措置については、市税条例及び市税条例施行規則で規定していますが、空き家解体後の特例措置はありません。

問 相続を放棄したい空き家、空き店舗及び空き地の寄附は、基本的に受け入れないという事ですが、藤岡地区の高山医院の跡地、鬼石地区の木村屋の跡地のように寄附として受け入れた事例もあります。どのような条件の時は受け入れるのか伺います。

答 不動産の寄附は原則受けていません。寄附を受ける場合は、市民の財産として活用できるかどうか基準になります。

問 空き家を解体して農地として管理する場合の課税方法について伺います。

答 農地として課税される土地は農作物の作付、除草など肥培管理を行って農作物を栽培する土地となり、市街化区域内の農地は、宅地並みの評価額から宅地造成費相当額を控除して評価し、さらにこの評価額に3分の1を乗じた額が課税標準額となります。



子供と高齢者の 安全確保について

橋本 新一

問 本市は高齢運転者に對してどのような安全指導を行っているか伺います。

答 警察などと連携を図りながら、老人クラブの集会などに合わせ、警察官による運転時における注意事項についての安全講話を実施しています。また、本年10月には群馬県主催による高齢者交通安全協力者養成講習会を市内の自動車教習所で開催し、地域の方に運転シミュレーターによる診断とその結果に基づく実車教習を行いました。このような取り組みは、高齢者が現状の運転技術の自覚を得るため今後も開催していく予定です。

答 運転免許証自主返納者を対象とした移動手段を確保するための事業は

行っていないませんが、65歳以上の方が対象となる高齢者バス利用促進敬老割引制度を利用するよう周知に努めています。



市有施設の運用と 管理について

問 小・中学校の校庭の現状と課題について伺います。

答 現状については、学校によって雨が降ると水はけが悪く、部分的にぬかってしまう場所があります。この対応には、学校の要望により教育委員会から砂等の原材料支給を行い、学校側で部分的に埋めるなど支障のないようにしています。また、校庭の若干のこぼれ等は、教育委員会ですべて

るグラウンド整備用具を貸し出し、各学校で整備を行っています。また、業者を入れての校庭の整備については、平成24年度より中学校の校庭について授業のほかに部活動でも使用しているのので、整備が必要な箇所を計画的に順次実施しています。課題については、水はけのほか、校長会からの要望や施設点検時の確認で、降雨により表土が流出し、かたい部分が出てきてしまうなど、数校においてそのような場所が見受けられます。

平成29年度の予算編成 について

佐藤 淳

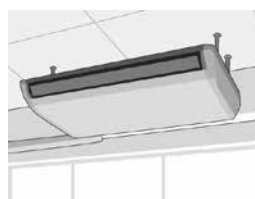
問 平成29年度の予算編成に対する市長の基本方針を伺います。

答 市民の目線に立った見直しや改善を行うことにより、より一層市民サービスの向上が図られる予算編成を行います。

問 市民や議会の関心の高い小・中学校の普通教室へのエアコンの設置に係る予算を来年度計上す

る意思があるか伺います。

答 来年度にエアコンの設計費を計上する予定です。



問 財政運営効率化の原則は地方自治体運営の基本原則とも言われています。平成27年度の建築一式工事の平均落札率は件数ベースと金額ベースでそれぞれ何パーセントになるか伺います。

答 件数ベースで97.7・8233%、金額ベースで97.7・8233%です。

問 一般論では95%以上は談合の疑いがあると言われているようですが、市民に対して適正な入札が行われているとは言いがたい結果と思われる。制度の見直しを行い、財政運営の効率化を図り、財源等の確保を図るべきと考えますが、この入札制度を見直す考えがあるか伺います。

答 何が一番いいのか、これからの色々検討してやっていきたいと思っています。

問 財政構造弾力性確保の原則の観点から質問します。平成23年度から27年度までの本市の経常収支比率と、県内35市町村ではどの位置になるのか伺います。

答 平成23年度は95.2%で32番目、24年度は97.6%で34番目、25年度は95%で32番目、26年度は97.7%で最下位、27年度は97.2%で最下位です。

問 散々な結果ですが、この原因と改善策について伺います。

答 社会保障関係経費の増加と、退職金の増額、公債費が平成27年度から29年度にピークになると考えています。ダイナミックスに経常収支比率を下げることはできませんが、歳出を精査して抑えていくしか方法はないと考えています。

市議会を傍聴しませんか？

.....

議会は、3・6・9・12月の定例会と随時に開催する臨時会があります。 ■ 3月定例会（予定）

◎本会議の傍聴

本会議は、一般の方に公開されており、いつでも傍聴することができます。事前の予約は必要ありません。

傍聴を希望する本会議の当日に、傍聴人受付（市役所2階議会事務局前）で、受付簿に住所、氏名を記載し、番号札を持って入場します。

傍聴される方に議案集の貸し出しも行っています。

傍聴人の定員は58人です。

◎委員会の傍聴

委員会も本会議と同様の手続きで傍聴することができます。

傍聴を希望する委員会当日に議会事務局までお越しください。

日程については、市議会事務局にお問い合わせください。

また、藤岡市ホームページの「藤岡市議会」→「議会の情報：会議のお知らせ」にも開催予定日を掲載しています。

月 日	時 間	摘 要
3月1日(水)	10:00	本 会 議
3月2日(木)	10:00	本 会 議
3月3日(金)	10:00	常任委員会
3月6日(月)	10:00	常任委員会
3月8日(水)	10:00	一 般 質 問
3月9日(木)	10:00	一 般 質 問
3月14日(火)	10:00	予算特別委員会
3月15日(水)	10:00	予算特別委員会
3月17日(金)	10:00	本 会 議

● お問い合わせ ● 市議会事務局 ☎40-2377 ●

この議会だよりに掲載してある一般質問は、要約してあります。
詳しくは、藤岡市のホームページや市役所相談室、図書館で
会議録（2月下旬公開予定）をご覧ください。

● 藤岡市議会ホームページ ▶ <http://fujioka.gijiroku.com/> ●

議会中継をご覧ください

藤岡市議会では、市民に開かれた議会を目指し、インターネットによる録画配信を行っています。

藤岡市議会のホームページから、議会中継を見る事が出来ます。

現在、インターネットで配信されている映像は、平成25年第4回定例会から、12月8・9日に行われた平成28年第5回定例会（今号掲載分）までの一般質問の様子です。

ぜひ、ご覧ください。

議会中継

録画放映

をクリック

藤岡市議会

Google カスタム検索

議会の情報:

- 市議会トップページ
- 正・副議長の紹介
- 市議会議員名簿
- 委員会別名簿
- 会議のお知らせ
- 傍聴のご案内
- 定例会の流れ
- 請願・陳情
- 主な決議
- 議会だより
- 議会基本条例
- 行政視察報告書

議会中継

- 録画放映

文書検索:

会議検索について

藤岡市議会

Google カ 検索

藤岡市議会録画放映

会議名: 本会議
会議日: 平成28年6月17日 10:00
日程:
一般質問

録画内容:
6月17日

00:07 / 04:47:15

▶ 別ウィンドウで表示(上で再生できない場合)
▶ 映像が見られない場合
▶ 前の画面に戻る

■ご覧いただく各映像は、藤岡市議会の公式記録ではありません。

Copyright (c) 2010- 藤岡市議会公式サイト Fujikawa City Assembly. All Rights Reserved.

録画放映画面です
画面を大きくすることもできます

ココをクリック!

経済建設常任委員会報告

行政視察

視察年月日 ●平成28年9月28日(水)・30日(金)
場 所 ●岩手県遠野市・青森県八戸市

道の駅

「遠野風の丘」について

道の駅「遠野風の丘」は全国モデル道の駅に選定され、東日本大震災時には、自衛隊・救急隊・ボランティアの方々の支援拠点として機能を発揮していることから、災害時における後方支援施設としての背景について参考とするため視察しました。

施設は、インフォメーション機能が充実しており、職員が1・5人体制で案内し、市内観光施設や道路状況の情報、近隣市町村へのアクセスのほか、宿泊斡旋、市内イベント等のチケット販売なども行っています。

さらには、広域防災の拠点として位置付けられ、ベースキャンプ、備蓄等



の防災機能を分担し、防災情報機能の充実を図るには、衛星放送の活用も検討する必要があるとのことでした。

本市においても、大規模で広域にわたる被害が発生した場合の後方支援拠点としての役割を担い、そのための体制づくりが求められています。

八戸ポータルミュージアムについて

八戸ポータルミュージアム「はっち」は、八戸市中心市街地地域観光交流施設として、中心市街地の空洞化や商業機能の低下が懸念する中において、人々が集い、にぎわいのあふれる空間に再生するため整備されました。施設の果たす役割等について参考とするため視察しました。

施設は、新たな交流と創造の拠点として、賑わいの創出や観光と地域文化の振興を図りながら、中心市街地と八戸市全体を活性化するためのコアであり、通行量が中心市街地で30%、施設前では90%増加しているなど、八戸市の玄関口としての役割を担っています。

運営面では、維持管理経費や自主事業の実施経費・人件費の不足額を一般財源から充当していましたが、施設の目的から施設使用料を高く設定することや、事業を減らして事業費を抑制することをせず、事業の実現に努めているとのことでした。

本市においても、先進地の核心部分を精査分析し、状況に合致したまちづくりの基盤となる方策を考える必要があります。



編集後記

新しい年を迎え、皆様にとつてより良い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

第5回定例会では教育長の任命についてなど、各議案の議決を行いました。また、一般質問では10名の議員により、活発な議論が行なわれました。今年も委員一同、議会活動をよりわかりやすく伝え、市民の皆様に関心を持っていただけるよう、紙面の充実に努めてまいります。

議会だより編集委員会

委員長	窪田 行隆	委員長	橋本 新一
副委員長	中澤 秀平	副委員長	丸山 保
委員	野口 靖	委員	湯井 廣志
委員	松村 晋之	委員	窪田 行隆
委員	青木 貴俊	委員	茂木 光雄
委員	岩崎 和則	委員	針谷 賢一
委員	佐藤 淳	委員	隅田川 徳一
委員	冬木 一俊		